

事務事業評価表(既存事業)

コード 7-3-3	事務事業名 児童館休日・夜間開館対応事業	所管部課 児童青少年部 児童課
--------------	-------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 児童館再構築による青少年の居場所機能を付加した特化型児童館の設立に向けた準備として実施するものであり、地域の中高生の居場所づくりや活動の場の提供及び、乳幼児の子育て支援の拡大を図ることを目的とする。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)子ども参加の促進(創2-1) (主要施策)青少年センターの整備
	実施内容、実施方法 夜間開館は中高生を対象とし、2施設(月・水・金の6時から9時)を民間委託にて運営 休日開館は日曜日(午前9時30分～午後5時)を民間委託にて運営	根拠法令等
事業開始時期 平成 16 年度 実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()		

評価指標の設定	活動指標名 夜間・休日開館日数	活動指標の考え方(定義) 夜間・休日開館日数(実施2館の開館日数)
	成果指標名 来館者数	成果指標の考え方(定義) 来館者数(実施2館の延べ来館者数)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		0	0	4,330	8,293
	国庫支出金	千円				
	都支出金				3,769	
	地方債					
	その他					
	一般財源				561	8,293
	所要人員(B)	人			0.50	0.50
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	4,164	4,164
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	8,494	12,457
	単位当たりコスト (E)=(D)/(夜間・休日開館日数)	千円	0	0	33.18	
歳入	千円					
活動指標	目標値	日			256	394
	実績値	日			256	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	人			5,080	7,880
	実績値	人			6,300	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	利用者から、開設の要望がある。 育成会からも要望があった。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	他市においても、夜間開館、休日開館を実施している市が有り
	運営上の制約条件・ 外部要因等	開館にあたり、地域住民及び学校等の関係機関との連携

コード 7-3-3	事務事業名 児童館休日・夜間開館対応事業	所管部課 児童青少年部 児童課
--------------	-------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	事業開始初年度で2館で実施し、6,300人の児童の利用があった。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	夜間開館については、中高生年代の健全育成対策として、休日開館も親子で利用したい市民の居場所対策として重要な役割を担っている。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	民間のノウハウを持っている会社に業務委託をしており、費用対効果は高い。
	公平性 <input checked="" type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	実施館が2館のため、他の館に拡充して、公平に利用できる環境を整える。
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	夜間開館の試行は、中高生の受入機能を付加した特化型児童館ができるまで、引き続き実施する。 休日開館についても、市の財政状況をみながら、館数の増加を検討する。

17年度における改善点	本年度は2年目であり、年度当初から実施していることから、年間を通してデータが取れる(16年度は8月から実施)ため、来年度からの比較データとし次年度以降に改善を図りたい。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現在、中高生までを対象とした居場所づくりとして、児童センターの整備を検討しており、休日・夜間開館は、センター設立までの経過措置として継続する。
--------	---	---

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。